

平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	教育委員会
課室名	生涯学習課

預算	款	項	目	決算書	
	10	6	1	230	頁

目 名
保健体育総務費

事務事業名称
スポーツ振興総務事業

1. 概要

目的	誰もが気軽にスポーツを楽しめる環境を充実する	対象	市民
事業概要	○スポーツ振興総務事業 ・体育指導委員報酬(35名 1,750,000円) ・豊後大野市体育協会補助金(12,576,000円) ・各地区スポーツ振興会補助金(7地区 10,480,913円) ・総合型地域スポーツクラブ補助金(みえスポーツクラブ、おがたいいききスポーツクラブネスト 3,300,000円) ・各種スポーツ大会出場補助金(18件 2,113,000円)		

臨／経	事 業 名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	スポーツ振興総務事業	各種のスポーツ振興補助金	負担金補助及び交付金	33,179	31,856			5	31,851	3
計				33,179	31,856	0	0	5	31,851	

2. 指標設定

成果指標	指標名	生涯スポーツへの参加	目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	-			生涯スポーツ活動への参加者数の増加を促し、一層のスポーツ振興を図る必要がある。		
活動指標	指標	a 総合型スポーツクラブの加入者数	数値	b 競技力の向上	c 指導者の育成	d	
	目標	1,000		目標 県民体育大会総合8位以内	目標 250人	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22	活動指標名	単位	H20	H21	H22
生涯スポーツへの参加		-	-	-	a 総合型スポーツクラブ加入者数	人	745 人 74.5 %	753 人 75.3 %	752 人 75.2 %
					b 競技力の向上	位	15 位 53.3 %	11 位 72.7 %	15 位 53.3 %
					c 指導者の育成	人	237 人 94.8 %	243 人 97.2 %	223 人 89.2 %
					d				

4. 課題と対応

課題
子供の体力の低下や高齢者の健康対策が指摘される中、誰もが年代に応じたスポーツ活動が身近な地域で行えるよう学校、家庭、地域と連携した活動の場をつくり一層のスポーツ振興を図る必要がある
対応（改善点等）
誰もが参加できるスポーツイベントや健康教室を実施し、生涯スポーツに親しむ機会を提供する。また継続的にスポーツ活動ができる総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団への加入を促進する

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費		19,893	31,892	31,856	31,260
財源内訳	国費	19,893	31,892	31,856	31,260
	県費				
	市債				
	その他	5	5	5	5
	一般財源	19,888	31,887	31,851	31,255
	うち経常	19,888	31,887	31,851	31,255
事業費に係る人件費		8,490	8,533	6,570	6,450

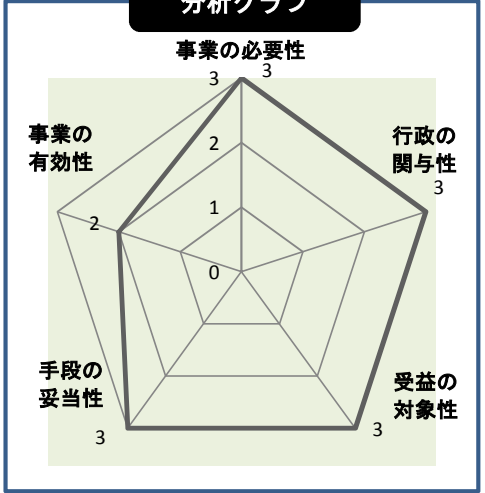
6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
補助金については平成23年度において10%削減した。現行の予算額で事業推進する。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	誰もが気軽にスポーツに親しむことで、心身が健康でいきいきと生活でき、地域の活性化を図ることができる
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	スポーツ基本法では、国、地方公共団体等において基本理念の実現を図ることを具体的に規定している
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3	幅広い年齢層の全市民
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的の達成には有効と思われる
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2	一層の市民のスポーツ実施率の向上を図る必要がある

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	補助金要綱に則り、経費の削減を図りつつ、引き続き適正な運営を行うこと